Adobe
企業の社会的責任報告書2021

MUE Studioの作品

アドビCEOからメッセージ

アドビが創業40周年を迎えるにあたり、私たちはその影響と目的を振り返る機会を得ました。過去40年以上にわたり、私たちのイノベーションは世界中の何十億もの人々の生活に影響を与えてきました。私は、私たちのテクノロジーが、デスクトップパブリッシングや画像処理から、電子文書、動画やゲーム、デジタルマーケティングや商取引に至るまで、社会のあらゆる側面に与えた影響を非常に誇りに思っています。デジタルの世界はアドビのツールやプラットフォーム上で動いているといっても、過言ではありません。

アドビのミッションである「世界を動かすデジタル体験を」は、次の10年を見据えた時、これまで以上に重要な意味を持ちます。

アドビでは、「何」をするかだけでなく、「どのように」するかが重要だと考えています。私たちは常に、人、目的、コミュニティに焦点を当て、正しいことをする会社作りに取り組んできました。このコアとなる価値観は、過去40年間にわたって私たちの進化と成長を導き、世界中の25,000人以上の従業員に、より多くの影響を与え、未来を創造することに集中するよう促してきました。
私たちの目的の中核となるのは、私たちが独自の地位を持ち、変化を起こす意欲を持っている次の3つの領域「Adobe for All」、「Creativity for All」、「Technology to Transform」です。

Adobe for All：アドビは、すべての人が平等に扱われ、平等な機会が与えられるべきであると考えており、変化を推進する最善の方法は、異なる視点を表現し称賛する多様でインクルーシブ（包摂的）な文化を構築することによって、アドビの中から始めることだと信じています。職場の多様性が高いほど、お客様とコミュニティにとって、より多くのロールモデル、進歩、成長、意義ある革新の好循環につながります。私たちは同一賃金におけるリーダーであり続けており、人材パイプラインの拡大と、アドビ全体および指導的役職における世界的な多様性の拡大に取り組んでいます。

アドビは、多様なバックグラウンドを持つ強力な技術とクリエイティビティを備えた学生を育成する取り組みの一環として、歴史的黒人大学（HBCU）およびヒスパニック系学生受入大学（HSI）とのパートナーシップを構築しました。各大学は、新たに立ち上げたAnchor School Programの一環として、アドビから100万米ドルの寄付を受け、学生のテクノロジーおよびクリエイティブ業界での就職の準備を支援しました。

昨年は、社会から取り残された人々や社会的に弱く過小評価されている人々の平等な機会獲得の保護と促進を支援することに力を注ぎました。この取り組みの最初のステップとして、アドビは、Adobe Foundationからの資金援助を受け、OutRightAction International、Human Rights Watch、Equal Justice Initiativeを含む11の主要な世界的非政府組織（NGO）とともに、機会への体系的な障壁に対処し、社会的平等を推進することを目的とした3年間の「Equity and Advancement Initiative」を立ち上げました。このモデルを通じて、Adobe Foundationとアドビは長期的かつ戦略的なコミットメントを行い、3年間で最低2,000万米ドルを投資し、有意義なパートナーシップの機会、従業員のための学習体験、アドビとコミュニティにとって重要な問題をサポートするアドビ独自の強みを活用する新たな方法を提供しています。

アドビCEOからメッセージ

Creativity for All：私たちは、誰もがクリエイティブで、自分のストーリーを共有する権利があると信じています。私たちは、あらゆる年齢や背景のクリエイターが、自らを表現するために必要なツール、スキル、プラットフォームにアクセスし、可能性を最大限に引き出し、ユニークで多様な視点を世界と共有することを可能にする方法をリードすることにコミットしています。

すべての人により大きな機会を創造するという長年のコミットメントとしてアドビが昨年1年間で次のようなことを誇りに思っています。
それは、世界中の才能ある若き映画製作者にメンターシップとサポートを通じてキャリアの次のステップを追求できるようにするSundance Igniteとの取り組み、多様な分野の多様なクリエイターの物語を紹介するアドビのDiverse Voicesプラットフォーム、世界中の何百万人もの学生に質の高い教育リソースと素晴らしいクリエイティブなスキルを提供しているKhan Academyとのパートナーシップ、リソース、メンターシップ、助成金を通じて45カ国から何百人ものクリエイターを支援し、クリエイティブなプロジェクトを実現してきたアドビのCreative Residencyプログラム、私たちの製品で活動を可能にしている世界中の多くの学校や組織などです。私たちはアドビのプラットフォームを使用し、誰もが自分のストーリーを語る機会を提供しています。

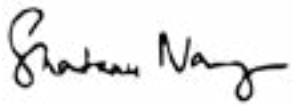
Technology to Transform：何十億もの人々に影響を与える製品を提供している、世界で最も革新的なソフトウェア企業の1つとして、私たちは、テクノロジーそのものの開発と同じくらい、テクノロジーの影響を真剣に受け止めなければなりません。アドビは、変革をもたらす技術を市場に出し続けるとともに、社会のためにテクノロジーを責任ある形で利用していくことを目指しています。私たちのイノベーションは、コンテンツの完全性、AI倫理、プライバシーとセキュリティ、デジタルリテラシーなどの分野で大きな影響を与えています。

私たちは、ハードウェア、ソフトウェア、出版、ソーシャルメディアにおける多数のパートナーとともに、コンテンツ認証イニシアチブ（CAI）を主導し、コンテンツエコシステム全体にわたる透明性と属性の標準を確立し、メディアへの信頼を高めることを支援しています。私たちは、人工知能（AI）には優れたデジタル体験を生み出すための人間の知性、クリエイティビティ、創意力を増幅する力があると信じており、責任あるインクルーシブな方法でAI倫理を推進することにコミットしています。アドビは2021年、他の業界リーダーとともに、AIの信頼性構築に向けたBSAのフレームワークの開発を支援しました。アドビの「Privacy by Design」アプローチでは、各種の規制を満たすかさらにその上を行く、認証済みのセキュリティおよびプライバシー管理を積極的に製品開発に取り入れています。

持続可能性：私たちは、ゼロ炭素事業の達成、お客様や地域社会が環境にプラスの影響を与えるデジタル製品の開発、同僚、パートナー、従業員と協力した持続可能な文化の育成に取り組んでいます。私たちは、系統電力に再生可能エネルギーが占める割合を増やすために、Science-Based Targets（科学的根拠に基づく排出削減目標）および2035年までの再生可能エネルギー100%という目標の採択を通じて、エネルギー効率および再生可能エネルギーの実践におけるリーダーシップを示しました。世界中のオフィススペースの80%以上がLEEDまたはグリーンビルディング認証であり、今年後半にはサンノゼ本社に全電化のオフィスタワーがグランドオープンする予定です。

40周年を迎えるにあたり、私は、アドビが素晴らしく公平な職場として業界から評価され続けていることを誇りに思います。私たちは、従業員とお客様へのコミットメントと、これからも何年にもわたって世界中に大きなポジティブな影響を与えるという目的に向けてアドビの長所を強化していくことをお約束します。

Sincerely,



Shantanu Narayen　*Chairman & CEO, Adobe Inc.*

行動価値：2021

ガバナンスとファイナンス

60%
の取締役が女性または URC（Underrepresented communities）*の出身

157.9億ドル
の収益（FY21）

前年比収益成長率：
23%

FY21の主な買収：
Frame.io
Workfront

*社会的に弱く過小評価されているコミュニティ。California AB 979に定義。FY21時点のデータ。

コミュニティ

8,800万ドル
をコミュニティに投資

67,700以上
支援を受けた組織の数

69%従業員の参加率

従業員

1:1
男女の賃金格差（女性/ 男性）およびアメリカの人種/ 民族による賃金格差（マイノリティ/ 非マイノリティ）*

33.8%
の従業員が女性（世界全体）

8
従業員ネットワーク
アドビのネットワークでの「Indigenous & First Nations」の立ち上げなど

*マイノリティ（URM：Underrepresented Minority）とは、黒人/ アフリカ系アメリカ人、ヒスパニック系/ ラテン系、ネイティブアメリカ人、太平洋諸島の住民、および/ または複数の人種の血統を持ったアメリカの従業員のことです。

持続可能性

75%
FY22末までに再生可能電力75%を達成

37位
Barron's誌のMost Sustainable Companiesのランキング

当社の科学的根拠に基づく排出削減目標を引き上げ、気温上昇
1.5℃
以内を目標に

10
積極的な気候変動対策の姿勢を示す方針提言

スポットライト： Adobe for All

私たちは、誰もが平等な待遇と機会を受けるに値すると信じており、人は評価され、受容されていると感じるとき、よりクリエイティブで、革新的になり、活躍する可能性が高まると信じています。アドビはこのビジョンを「Adobe For All」と呼び、さまざまなプログラムやイニシアチブを通じてその実現に取り組んでいます。

インクルーシブな採用

2021年には、Anchor School Programを通じ、歴史的黒人大学（HBCU）やヒスパニック系学生受入大学（HSI）とパートナーシップを結びました。各大学は、アドビから100万米ドルの寄付を受け、学生のテクノロジーおよびクリエイティブ業界での就職の準備を支援しました。また、雇用プロセスを強化するために「Hiring at Adobe」プログラムを継続し、「Diversity Talent Acquisition」チームは、社会的に弱く過小評価されているグループからの人材の採用に力を注ぎました。

従業員の体験

2021年も引き続き、「Adobe従業員リソースグループ」（ERG：employee resource group）で新たに設立された「Indigenous & First Nations」を含む、社会的に弱く過小評価されているグループの従業員のためのコミュニティを構築する8つの従業員ネットワークをサポートしました。私たちは、世界的な従業員アライシッププログラムを開始し、アドビの黒人と社会的に弱く過小評価されている従業員の評価と成功を促進するために、引き続き「Taking Action Initiative」に力を注ぎました。私たちは、数千人の従業員を集めて1週間にわたる世界的なD&Iイベントを継続し、毎日、インクルージョンと共感力を強化する方法に焦点を当てました。

同一賃金

アドビは公平な報酬を約束し、これを順調に進めるために分析と透明性の確保に力を注いでいます。アドビでは、同一賃金を、同じ職種・同じ地域の従業員が性別・人種にかかわらず公平に賃金を支払われることと定義しています。2021年には、世界男女同一賃金とアメリカにおけるマイノリティ（URM*）従業員と非マイノリティの従業員の同一賃金を再び達成しました。

*マイノリティ（URM：Underrepresented Minority）とは、黒人/ アフリカ系アメリカ人、ヒスパニック系/ ラテン系、ネイティブアメリカ人、太平洋諸島の住民、および/ または複数の人種の血統を持ったアメリカの従業員のことです。

将来を見据える

アドビは、2025年までに、世界全体で指導的役割に就く女性の割合を30%に、2025年までに、アメリカで指導的役割に就くマイノリティを2倍に、また、2025年までに、アメリカの従業員における黒人の割合を2倍にするという目標を設定しました。私たちの職場の多様性は年を追うごとに正しい方向に向かっていますが、まだやるべきことがあります。

多様性のメトリクス

33.8%
女性従業員の割合（世界全体）

10.9%
マイノリティ（URM）従業員の割合（アメリカ）

1:1
男女の賃金格差（女性/男性）およびアメリカの人種/ 民族による賃金格差（マイノリティ/ 非マイノリティ）

追加情報と多様性のメトリクスは、www.adobe.com/diversity.htmlで入手できます。

詳細については、アドビのFY2021 D&I Year in Reviewを参照してください。

スポットライト：平等・促進イニシアチブ

昨年は、社会から取り残された人々や社会的に弱く過小評価されている人々の平等な機会獲得の保護と促進に力を注ぎました。

また、アドビは、これらの目標に沿った非営利団体への資金提供や関与方法を進化させ始めています。なぜなら、私たちは非営利団体のリーダーと従業員の両方の学習と育成を支援しながら、より大きな効果を生み出すことに取り組んでいるからです。これは、より大きな効果を得るために、企業のプログラムや従業員の関与と助成金交付を統合する機会です。

最初のステップとして、Adobe Foundationからの資金援助を受け、11の主要な非政府組織（NGO）とともに、3年間の「Equity and Advancement Initiative」（平等・促進イニシアチブ）を立ち上げました。このイニシアチブは、機会に対する組織的な障壁に対処し、社会的平等を促進することを目指しています。

このモデルを通じて、Adobe Foundationとアドビは長期的かつ戦略的なコミットメントを行い、3年間で最低2,000万米ドルを寄付し、有意義なパートナーシップの機会、従業員のための学習体験、アドビとコミュニティにとって重要な問題をサポートするアドビ独自の強みを活用する新たな方法を提供しています。

私たちは、助成金交付について異なる発想を得て、提携への新しいアプローチを発見し、平等のための闘いにおいて多様な新しい声を高める機会に心を躍らせています。

Kirsten Ulveの作品

スポットライト：Diverse Voices

アドビでは、誰もが自分のクリエイティビティを共有する機会を得るに値すると考えています。特に、黒人、ラテン系、アジア系および太平洋諸島の住民、LGBTQ+、女性をIDとするアーティストやストーリーテラーのような、社会的に弱く過小評価されている新進のクリエイターのために、その前に立ちはだかっている障壁を打破したいのです。

私たちのDiverse Voicesイニシアチブは、社会的に弱く過小評価されているクリエイターたちの物語に焦点を当て、インスピレーション、教育、つながりのための単一の場所を提供しています。この取り組みの一環として、私たちはアドビのチャンネルを利用して、以下のプログラムを通じてクリエイターを高めてきました。

Women Create

女性によるクリエイティビティは女性の創造性に刺激を与えます。Women Create Wednesdayシリーズは、産業、文化、地域を越えて女性を奮い立たせた話を伝えており、2021年には1,000万回の視聴を集めました。

また、Marie Claire誌と協力し、初めての『Creators』を発行しました。これは、デザイナー、ディレクター、インフルエンサー、起業家など、女性をIDとするクリエイターに焦点を当てた同誌の特集号です。

Sundance Ignite

アドビは2015年の「Sundance Ignite Program」の創設支援者であり、それ以来不可欠なパートナーです。毎年、Sundance Ignite x Adobe Fellowshipは、18歳から25歳までの10人の新人映画製作者を、無制限の助成金、特別な指導と支援、サンダンス映画祭への旅行を含むこの1年間のプログラムへ招待します。

Sundance Ignite Programの成功を基に、Women at Sundance | Adobe Fellowshipは、さまざまな分野で大胆で新しい作品を生み出している女性アーティストを支援するために2020年に設立されました。2021年には、Sundance Igniteand Women at Sundance | Adobe Fellowshipsを通じ、新人映画製作者へのコミットメントを継続しました。サンダンス映画祭2022への協賛により、サンダンス映画祭は若い映画ファンにとって身近なものとなりました。Ignite Day Presented by Adobeはパネルディスカッション Pathway to the First Feature と2021 Sundance Ignite x Adobe受賞作品の上映に多くの参加者を集めました。

Create Change

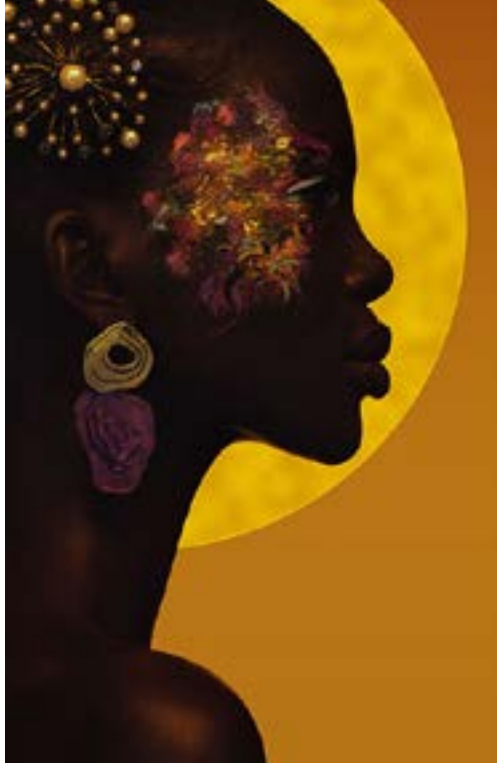
この会話型デジタルシリーズは、さまざまな分野の多様なクリエイターたちを集め、クリエイターたちがクリエイティビティを使ってインスピレーションを得て、世界に衝撃を与えている様子を共有しています。Lena Waithe、Hunter Schafer、Michaela Jae、America Ferrera、Wanda Sykes、Cleo Wadeなど、36人のクリエイターが参加し、特別版では「Pride and Hispanic Heritage Month」を祝いました。このシリーズは2021年7月現在、3,300万回視聴されています。

スポットライト：Diverse Voices

ComplexLandのクリエイター

アドビは2020年12月、Complex Networksの初の仮想フェスティバルComplexLandに参加し、新たに登場した5人の黒人クリエイターに焦点を当て、その作品を6日間のデジタル体験を通して全面展示しました。Bria Nicole, Philip Kaiten, Juan Veloz, Justine Mangum of Winnie Weston, Dana Scruggs らがAdobe Creativity Spaceでそれぞれの作品を披露し、100万回以上の再生回数、138,000回の訪問者数、23万のエンゲージメントを獲得しました。

Bria Nicole、Juan Veloz、Justine Mangumの作品



When I See Black

次世代の黒人クリエイターにとって、自分自身とあらゆる黒人のクリエイティビティを見ることは極めて重要です。「When I See Black」は、黒人のクリエイターたちの目と声を通して語られ、グレゴリー・ポーターの曲「Revival」に設定されている、さまざまな黒人体験へのオマージュです。この作品には、 Esther Luntadila, Crystal Kayiza, Temi Coker, Barry Yusufu, Devin Wesley, Aurélia Durand, Shani Crowe, Yannis Guibinga, Asia Hall, Lawrence Agyei, Ismail Zaidy, Joshua Kissi の作品が掲載されており、2020年12月時点でHulu全体で5,900万のインプレッションがありました。

JD Barnesの作品

Where I'm From

「Where I'm From」では、「どちらのご出身ですか?」という質問に答えることで生じる豊かで多様なストーリーを探っています。この動画では、アジア系および太平洋諸島の住民（API）のアーティストたちが、このよくされる質問を逆手にとって語りかけてきます。この作品には、Nishat Akhtar, Meiko Arquillos, Shyama Golden, Rebecca Hsu, Shxpir Huang, Hanna Lee Joshi, Don Muna, and Jiaqi Wang の8人のAPIアーティストが登場し、ルーツを受け入れ、無数のアイデンティティを主張し、そのクリエイティビティが自分たちのユニークな体験からいかにインスパイアされているかを示しています。この動画は100万回以上再生され、1,950万回のインプレッションを持つHypebeast誌で取り上げられました。

Hanna Lee Joshiの作品

I Made a Film

映画には文化、政治、社会規範を形成する力がありますが、多様な声がなければそれはありえないことです。2021年11月時点での再生回数が40万回を超え、Vanity Fair誌でのインプレッション数が2,900万を超える短編映画「I Made a Film」は、Sundance Ignite Fellowである Mariales Diaz, Sean Wang, and Zenzele Ojore の3人にスポットライトを当てました。コミュニティや文化遺産の生き生きとした質感を作品に取り入れている独立系映画制作者の新しい波の一部であるこれらのアーティストは、次世代のストーリーテラーを代表しており、アドビはその旅の一部であることを誇りに思っています。

Natasha Cunninghamの作品

スポットライト：クリエイティビティに力を与える

NATIONAL GEOGRAPHIC

National Geographic Societyとアドビは、共同でデジタルリテラシーを支援し、次世代にクリエイティブなストーリーテリングを教える一連の無料オンラインコースを提供しています。

学生や教育者がオンライン教育に慣れてきたため、オンデマンドの写真、動画、音声、およびグラフィックのコースの人気が高まり続けています。National Geographic Societyとのパートナーシップで作られたStorytelling for Impactのコースの、2022年のAnthem Awardsでプロダクト、イノベーション、サービス（非営利）部門での金賞受賞は大変誇らしいことです。

28,000件以上の登録

プログラム開始後最初の半年間に

写真：Ryan Hill

Khan Academy

アドビはKhan Academyのオフィシャルクリエイティビティパートナーであることを誇りに思っています。複数年契約の一環として、私たちは学生たちに質の高い教育リソースと素晴らしいクリエイティブなスキルを提供するために協力しています。

アドビとKhan AcademyによるTeach Creativityコースは、教師の専門能力開発を支援するもので、20時間を超える研修を受けられるようにし、修了証を発行します。

280万人以上の学生

をこの取り組みを通じて世界中で支援

スポットライト：変革を実現するアドビ

アドビは、より良い世界を構築するために、当社のソリューションを使用して社会や環境に良い影響を与えるお客様、クリエイティブ、パートナーを称えています。

動画を見る

米国赤十字社

2021年、アドビは 米国赤十字社 が顧客体験に革命を起こして社会に影響を与えたことを評価し、Adobe Experience Maker Changemaker賞を贈りました。米国赤十字社は、Adobe Experience Cloudを使用して、人々が簡単に献血したり命を救ったりできるようにしています。非営利団体の同社はまた、ボランティアが被災地で活動しているときにリアルタイムのパフォーマンスメトリクスを提供し、より効果的な対応を支援するためにこのプラットフォームを利用しています。控えめに言っても、米国赤十字社との協力が、アメリカ全国の地域社会に奉仕する組織の能力を高めるのに役立っています。

写真：Marko Kokic/American Red Crossによるストック写真

100cameras

100cameras は、困難な経験をした世界中の若者たちと協力し、写真を通して自分たちのストーリーを加工し伝える方法を教えています。アドビは2021年に100cameras と提携し、65カ国以上の若者や教室に恩恵をもたらす仮想および対面の撮影ワークショップを開催しました。また、これらの多様な若者の声を増幅することを目的とした Adobe Stock Premium限定画像 コレクションも共同で開催し、収益の100%が参加者のコミュニティのニーズを満たすために100cameras に還元します。

写真：100cameras のためにElle Wildhagenにより撮影、2019年

TSB Bank

Adobe Signで顧客向けのセルフサービスフォームを改善することで、TSB Bank では、紙の使用量を1日当たり7,000ページ削減し、顧客が支店を直接訪れる回数を2カ月間で15,000件も削減しました。これらの成果は、TSB Bankのスコープ3温室効果ガス排出量に貢献し、輸送からの炭素排出量削減などの活動を通じて、バリューチェーンの環境負荷削減に貢献しています。

スポットライト：変革を実現するアドビ

Enlisted Design

Fast Company誌によって世界有数のデザイン会社として認められているEnlisted Designは、アドビの3Dモデリングおよび没入型アプリケーションと連携するとともに、Illustrator、Photoshopを活用して、消費者が製品とどのように相互作用し、堆肥化可能な材料、植物ベースのインク、バイオプラスチック、FSC認証などの持続可能な行動の実践を通じていかにその体験に喜びをもたらすことができるかを理解しています。Enlisted Designは、その活動を通じて、持続可能性の標準定義を広げ、石炭燃焼などの差し迫った地球規模の問題に対する持続可能なビジネスソリューションを模索するために協力するパートナーを鼓舞することを目指しています。

読みやすさ

読書は知識を獲得しアイデアを共有するための基礎です。しかし、ほとんどの人はしっかり読むことができません。実際、アメリカでは16歳から74歳までの大人の大半で読み書きの能力が不足し、読む力が小学6年生レベルに満たず、パンデミックの最初の年には、読むことに苦労する子どもの数が世界中で5億人に達しました。

アドビのReadability Initiativeは、対象を絞った研究、製品開発、セントラルフロリダ大学、Readability Matters、World Educationなどとのパートナーシップを通じて、この世界的な問題に取り組んでいます。Adobe Acrobat ReaderアプリのLiquid Modeは、あらゆる人にとって読みやすさを向上させるための第一歩でした。

全米50州の政府パートナーシップ

アドビは、2021年、連邦政府および50州すべての州、郡、市レベルの機関とのパートナーシップを達成し、デジタルの近代化を推進したことを誇りに思います。アドビのExperience、Document、Creative Cloudの各ソリューションを組み合わせることで、政府機関による新型コロナウイルス検査の合理化、有権者へのワクチン情報の配布、10年に一度のオンライン国勢調査の実施、リモートワークへの効率的な方向転換、天然資源を節約するためのペーパーレスプロセスへの移行など、さまざまなパートナーシップが可能になりました。

スポットライト：信頼を築く

アドビは、変革をもたらす技術を市場に出し続けるとともに、社会のためにテクノロジーを責任ある形で利用していくことを目指しています。私たちのイノベーションは、コンテンツの完全性、AI倫理、プライバシーとセキュリティ、人権などの分野で大きな影響を与えています。

Pawel Nolbertの作品

コンテンツ認証イニシアチブ

私たちは、ハードウェア、ソフトウェア、出版、ソーシャルメディアにおける多数のパートナーとともに、コンテンツ認証イニシアチブ（CAI）を主導し、コンテンツエコシステム全体にわたる透明性と属性の標準を確立し、メディアへの信頼を高めることを支援しています。2021年には、CAIは2019年の3社の創設メンバー（アドビ、ニューヨーク・タイムズ・カンパニー、Twitter）から650以上のメンバーに成長しました。これは、私たちが皆、来歴標準をすぐにでも構築し、可能な限り広範な貢献者とオープンにそれを行いたいと感じているという緊急性の証です。

I2021年10月には、Content Credentialsのベータ版をPhotoshop内で公開しました。これにより、ユーザーが自分の作品に来歴を表示して添付できるようになりました。また、Adobe Stockからダウンロードされるすべての画像（1日当たり約30万枚）にコンテンツ認証情報が添付されるようになりました。Behanceは現在、単一の画像ビューでContent Credentialsもサポートしており、クリエイターは自分の作品の属性や履歴を表示したり、他のプロジェクトの来歴をデジタル的に探ったりすることができます。また、いくつかの導入事例と概念実証の導入も開始し、CAI技術の価値を実証しました。

AI倫理

私たちは、人工知能（AI）には優れたデジタル体験を生み出すための人間の知性、クリエイティビティ、創意力を増幅する力があると信じており、倫理的で責任あるインクルーシブな方法でAIを推進し、お客様と社会の両方にとってより良いものにすることにコミットしています。私たちは、説明責任、責任、および透明性の原則に基づいて、ソリューションにおける潜在的に有害なバイアスを軽減しています。2021年には、AIを活用した機能のためのAI倫理審査プロセスを拡大し続け、Partnership on AIに参加し、他のテクノロジーリーダーとともにAIの信頼性構築に向けたBSAのフレームワークを開発することで、業界全体での重要な取り組みの推進を支援しました。

データプライバシーとオンライン安全性

消費者やクリエイターの信頼を得るために、私たちは透明性を高め、製品やサービスにデータ保護を組み込む取り組みに力を注いでいます。2021年には、Technology Coalitionとのパートナーシップを通じて、業界全体で児童性的虐待資料の配布に取り組むイニシアチブを主導し、当社のオンライン安全性リソースの強化版を公開して、これまでにない児童安全のメトリクスを取り入れました。

また、カリフォルニア州消費者プライバシー法に基づき、個人の権利要求に関する透明性評価メトリクスを初めて公表し、消費者の信頼と企業の社会的責任への取り組みを強化しました。

人権影響評価

アドビは、グローバルに事業を展開し、グローバルに事業を展開するリーディング・テクノロジー企業として、従業員、ビジネスパートナー、サプライヤー、お客様、地域社会の人権を尊重してきました。2021年には、専門的な人権コンサルタント会社であるArticle Oneと協力して、変化する業界のニーズとリスクを予測し、業務全体を通じて包括的で最新のポリシーとプラクティスを確立するために、社内の人権影響評価を開始しました。

スポットライト： 持続可能性

気候変動対策の重要性はかつてないほど高まっています。私たちは、ゼロ炭素事業の達成、環境にプラスの影響を与える製品の開発、同僚、パートナー、従業員と協力した持続可能な文化の育成に取り組んでいます。

指針

私たちの製品を使用することによって、お客様がより持続可能になることを**可能にします**。
従業員のための、最も持続可能な、革新的で健全な職場を**設計**・構築します。
持続可能性への取り組みを通じて、運用コストを**削減**し、生産性を向上させます。
従業員の関与を通じて持続可能性に取り組む風土を**育成**します。
責任あるビジネス活動を通じて、私たちの評判を**守り**、高めます。

Frank Mothの作品

1

オペレーション

アドビはエネルギー効率と再生可能エネルギーのリーダーであり、2035年までにオペレーションに占める再生可能エネルギーの割合を100%にすることを目標としています。

- オペレーションにおけるスコープ1およびスコープ2の排出量を35%削減し、出張に伴う排出量を2018年のベースラインから30%削減することを**Science-Based Targets（科学的根拠に基づく排出削減目標）としています**。FY21末には、それぞれ41%、97%（新型コロナウイルスの影響を含みます）を達成しました。
- **世界中のオフィススペースの80%以上がLEEDまたはグリーンビルディング認証**であり、今年後半にはサンノゼ本社に全電化のオフィスタワーがグランドオープンする予定です。
- 2021年には、***Barron's*誌のMost Sustainable Companies 2022のランキング**で、昨年の65位から37位に順位を上げました。

2

製品

アドビのデジタルツールとワークフローは、お客様が天然資源を節約する方法で設計、ビジネスワークフロー、マーケティングを再考するのに役立ちます。

- **Adobe Creative Cloud** は、デジタルコラボレーションと仮想設計を可能にするツールによって、クリエイティブチームが二酸化炭素排出量を削減できるようにします。
- **Adobe Document Cloud** は、紙ベースのドキュメントプロセスに関連する無駄と非効率を削減します。
- **Adobe Experience Cloud** は、顧客をデジタル化する体験を企業が作り出すことを支援し、紙媒体のコミュニケーションや出張の必要性を低減します。

3

政策提言とソートリーダーシップ

Renewable Energy Buyers Alliance、BSRのFuture of Internet Power、米国Green Building Council、World Resources Instituteなどのお客様、業界の同業者、パートナーと協力し、ブランドの総合力を活用して変化を推進しています。

2021年、私たちは、系統脱炭素化に関するRenewable Energy Buyers AllianceのFederal Policy Statementや、国連気候変動会議に先立ってG20各国政府の指導者に気候に関するコミットメントを強化するよう要請する書簡を含む、複数の法律制定や気候に関する取り組みへの支援に署名しました。

責任あるビジネス活動

アドビは、顧客やパートナーとともに、または当社事業の中でビジネスの責任を果たしながら、世界中のコミュニティに影響を与えていくことをお約束します。以下の開示情報は、責任あるビジネス活動への取り組みを示しています。

リファレンス指標	重要業績評価指標	
GRI 102-1	組織の名称	Adobe Inc.
GRI 102-3	本社の所在地	カリフォルニア州サンノゼ
GRI 102-2	主なブランド、製品、サービス	デジタルメディア製品：**Adobe Creative Cloud** (Adobe Aero, Adobe After Effects, Adobe Dimension, Adobe Dreamweaver, Adobe Fonts, Adobe Fresco, Adobe Illustrator, Adobe InDesign, Adobe Spark, Adobe Stock, Adobe Photoshop, Adobe Photoshop Lightroom, Adobe Premiere Pro, Adobe Premiere Rush, Adobe XD, Behance, Substance by Adobe); **Adobe Acrobat**および**Adobe Document Cloud** (Adobe Acrobat DC, Adobe Sign, Adobe Scan)など デジタルエクスペリエンスクラウドの製品とサービス：**Data and Insights** (Adobe Experience Platform, Adobe Analytics, Adobe Audience Manager, Customer Journey Analytics, Real-time Customer Data Platform, Intelligent Services); **Content and Commerce** (Adobe Experience Manager, Adobe Target,Adobe Commerce); **Customer Journey Management** (Adobe Campaign, Marketo Engage, Journey Orchestration) **その他の製品およびサービス：** このほか、エンタプライズ製品やデジタルメディア製品、サービスを幅広く提供。ここに記載していない製品に関する情報は、当社ウェブサイトAdobe.comでご覧いただけます。
	修正済み法人設立認可証	修正済み法人設立認可証
GRI 102-50	報告期間	本報告書には、他に特別の規定がない限り、2021 年度（2020 年11 月28 日～ 2021 年12 月3 日）のアドビ社（世界全体）の事業および系列会社に関する情報を記載しています。

リファレンス指標	重要業績評価指標	2019*	2020*	2021
GRI 102-7	総収入	$11.171B	$12.868B	$15.79B
	総収入に占める割合			
	米州	58%	58%	57%
	EMEA	27%	26%	27%
	APAC	15%	16%	16%
	純利益	$2.951B	$5.260B	$4.82B
	実効税率の割合	8%	-26%	15%
	主な買収	Allegorithmic SAS		Frame.io、Workfront

* アドビ「企業の社会的責任報告書」過去の報告書はこちら。

責任あるビジネス活動

リファレンス指標	重要業績評価指標	2019	2020	2021
	税務			
GRI 102-15	税務が将来の企業価値創造に及ぼすリスクの評価			税リスク評価
GRI 207-1	税務へのアプローチ ー税に関するポリシー			アドビ税務ポリシー
	透明かつ倫理的なビジネスの実践：ガバナンス			
	株主の最終決議総数	1	0	0
GRI 102-22	取締役会の執行役員および非執行役員の人数	11	11	12*
GRI 102-22	独立取締役の割合	91%	91%	91%*
GRI 102-23	CEO 職と会長職の分離	なし	なし	なし
	取締役の女性の割合	27%	36%	33%*
GRI 102-43	株主のエンゲージメントの手順			2022 株主総会招集通知
	独立監査委員会			2022 株主総会招集通知
	独立報酬委員会			2022 株主総会招集通知
GRI 102-24	独立指名・ガバナンス委員会			2022 株主総会招集通知
GRI 102-35	役員の報酬の開示			2022 株主総会招集通知
GRI 102-35	上級執行役員の報酬に関する外部報告			2022 株主総会招集通知
GRI 102-36	株主総利回り（TSR）やそれと同等のものと関連するCEO の報酬			2022 株主総会招集通知
GRI 102-37	株主に執行役員の報酬に関する投票権がある			2022 株主総会招集通知
	取締役会の平均出席率			2022 株主総会招集通知
	監査、監査関連および非監査関連で支払った費用			2022 株主総会招集通知
GRI 102-36	役員持ち株制度のガイドラインはパフォーマンスを長期的視点で捉えることを促進			2022 株主総会招集通知
	報酬の返還に関するポリシー			2022 株主総会招集通知
GRI 102-16	会社の主なリスク要因に関する声明			Form 10-K for FY21
	アドビ重要性評価			2020アドビ重要性評価

*数字は2022 年3 月4 日時点のものです。

責任あるビジネス活動

リファレンス指標	重要業績評価指標	2021
	透明かつ倫理的なビジネスの実践：腐敗防止、反トラストの遵守	
GRI 205-2	反トラストに関するポリシー	Adobe Code of Business Conduct（アドビ ビジネスにおける行動規範）
GRI 205-2	反トラスト遵守のための措置	Adobe Integrity（アドビ インテグリティ）
GRI 205-2	内部告発プログラム	Adobe Code of Business Conduct（アドビ ビジネスにおける行動規範）
GRI 205-2	第三者による腐敗防止リスク評価の手順	Adobe Global Anti-Corruption Policy & Procedures（アドビ 国際的な腐敗防止に関するポリシーと手順）
GRI 205-2	高リスク分野における腐敗に対処するためのポリシー	Adobe Global Anti-Corruption Policy & Procedures（アドビ 国際的な腐敗防止に関するポリシーと手順）
SASB TC-SI-520a.1	反競争的行為に関わる法律上、規制上の罰金および和解金の額	FY21に、SEC 提出書類で開示が求められる、反競争的行為に関わる法律上および規制上の罰金や和解金の支払いはありませんでした。

責任あるビジネス活動

リファレンス指標	重要業績評価指標	2019	2020	2021
	データプライバシーとデータセキュリティ			
GRI 102-16, SASB TC-SI-220a.1	Adobe Trust Center—アドビのクラウドサービスにおける健全な運用、セキュリティ、プライバシー、コンプライアンス			Adobe Trust Center
GRI 102-16, SASB TC-SI-220a.1	プライバシーポリシー			プライバシーポリシー
SASB TC-SI-220a.2	顧客情報の取扱い			プライバシーポリシー
SASB TC-SI-220a.3	顧客のプライバシーに関わる法律上および規制上の罰金および和解金の額	FY19に、SEC 提出書類で開示が求められる、ユーザーのプライバシーに関わる法的手続きによる財務上の損失はありませんでした。	FY20に、SEC 提出書類で開示が求められる、ユーザーのプライバシーに関わる法的手続きによる財務上の損失はありませんでした。	FY21に、SEC 提出書類で開示が求められる、ユーザーのプライバシーに関わる法的手続きによる財務上の損失はありませんでした。
SASB TC-SI-220a.4	法執行機関からの要請			法執行機関からの要請
SASB TC-SI-220a.5	政府からの要請によるモニタリング			政府要請の透明性に関する報告書
SASB TC-SI-230a.1	データセキュリティ違反件数		FY20に、SEC 提出書類で開示が求められる、データセキュリティ違反はありませんでした。	FY21に、SEC 提出書類で開示が求められる、データセキュリティ違反はありませんでした。
SASB TC-SI-230a.2	アドビ データセキュリティ			データセキュリティリスク管理に対するアドビのアプローチ
SASB TC-SI-550a.1	アドビの製品と業績の状況			Status.adobe.com
SASB TC-SI-550a.2	業務中断による事業継続リスク			アドビの年次報告書の項目1A（リスク要因）： Form 10-K、業務中断に関わるリスクをご覧ください。
	公共政策の透明性			
GRI 102-16	政治への関与に関するポリシー			公共政策および対政府関係に関するポリシー
	政党、政治家、政治活動委員会（PAC）への資金提供総額	$0	$0	$0
GRI 415-1	ロビー活動および政治活動の費用	$1.34M	$1.27M	$2.13M（上院および下院）
GRI 102-13	団体の会員資格			公共政策団体への加入

責任あるビジネス活動

リファレンス指標	重要業績評価指標	2019	2020	2021
	責任あるサプライチェーン構築			
	RBA の行動規範に従う必要があるサプライヤーの割合	100%	100%	100%
	RBA によるターンキー方式のサプライヤーの検証監査	不要	不要	不要
GRI 412-3	人権スクリーニングを受けた重要なサプライヤーの割合	100%	100%	100%
GRI 407-1	結社の自由に関わる事例件数	0	0	0
GRI 408-1	児童労働に関わる事例件数	0	0	0
GRI 409-1	強制労働に関わる事例件数	0	0	0
GRI 102-16	サプライチェーンの実施基準、サプライヤー基準の範囲、モニタリング実施			アドビ サプライチェーン
GRI 102-16	ソーシャルサプライヤー基準の範囲			国際的な人権に関するポリシー
	サプライチェーンのモニタリング実施			奴隷制度および人身売買に関するステートメント
	国際的な人権に関するポリシー			国際的な人権に関するポリシー
GRI 103-2	人権侵害を報告するためのツール			Adobe Integrity（アドビ インテグリティ）
GRI 412-3	サプライヤー選定の人権基準			アドビ プロキュアメント
	サプライヤーダイバーシティプログラム			サプライヤーダイバーシティプログラム
	責任ある製品とサービスの使用			
	倫理とインテグリティ			Adobe Integrity（アドビ インテグリティ）
	コンテンツの信頼性			コンテンツ認証イニシアチブ コンテンツ認証ーアドビブログ
	プライバシー			アドビ プライバシーセンター
	画像改ざんの特定			Adobe Sensei
	アドビの変革者			当社製品を利用し、社会問題や環境問題に取り組む顧客

従業員

従業員をどのように扱い、どのように関わっていくかということは、企業の社会的責任の取り組みにおける重要な要素です。当社は、多様で開かれたコミュニティの基盤を従業員に提供し、一人ひとりが学び、成長し、昇進できる機会を平等に持てるよう取り組みを進めています。

リファレンス指標	重要業績評価指標	2019	2020	2021
	従業員			
GRI 102-7	従業員数（世界全体）	22,634	22,516	25,988
SASB TC-SI-330a.1	アメリカの従業員	52%	52%	52%*
SASB TC-SI-330a.1	アメリカ以外の従業員	48%	48%	48%*
	従業員のダイバーシティとインクルージョン†			
	ダイバーシティとインクルージョンの概要			Adobe For All
GRI 205-1	差別禁止に関するポリシー			アドビ ビジネスにおける行動規範
GRI 405-1	ガバナンス組織と従業員のダイバーシティ			ガバナンス組織：2021 株主総会招集通知
GRI 405-2	基本給と報酬総額の男女比			ダイバーシティ&インクルージョン－公平性
GRI 102-8, SASB TC-SI-330a.3	女性従業員の割合	33.1%	33.4% ‡	33.8%
GRI 102-8, SASB TC-SI-330a.3	男性従業員の割合	66.6%	66.3%	65.5%
GRI 102-8, SASB TC-SI-330a.3	女性管理職の割合	29.1%	28.9%	30.7%
GRI 102-8, SASB TC-SI-330a.3	男性管理職の割合	70.7%	71.0%	69.1%
GRI 102-8, SASB TC-SI-330a.3	女性リーダーの割合（部長以上）	24.9%	26.1%	25.4%
GRI 102-8, SASB TC-SI-330a.3	男性リーダーの割合（部長以上）	75%	73.9%	74.5%
GRI 102-8, SASB TC-SI-330a.3	女性技術職の割合	25.4%	25.8%	26.2%
GRI 102-8, SASB TC-SI-330a.3	男性技術職の割合	74.3%	73.9%	73.3%

* 数字は2021 年12 月3 日時点のものです。
†データは、アドビ従業員のうち、性別およびアメリカの人種・民族の情報を自主的に開示した人たちから得られたものです。当社の従業員（世界全体）のうち、性別の情報を開示していないのは1% 未満、アメリカの従業員のうち人種および/ または民族の情報を開示していないのは5% 未満です。FY2021より、多様性のメトリクスの算出方法を見直しました。アドビのメトリクスは、性別および/ または人種・民族に関するデータを自ら特定しないことを選択した人を含む、従業員（世界全体）の合計を表しています。これまでアドビは、性別および/ または人種・民族に関するデータを自ら特定した従業員の割合を報告していました。この移行により、計算にはより大きなデータセットを使用しています。
‡FY2020より、小数点第一位までのデータを報告しています。

従業員

リファレンス指標	重要業績評価指標	2019	2020	2021
	民族ーアメリカのみ*			
GRI 102-8, SASB TC-SI-330a.3	白人の割合	59%	58.1%	55.4%
GRI 102-8, SASB TC-SI-330a.3	アジア系の割合	31% †	31.2%	29.2%
GRI 102-8, SASB TC-SI-330a.3	ヒスパニック系の割合	5%	5.3%	5.2%
GRI 102-8, SASB TC-SI-330a.3	黒人の割合	2%	2.5%	2.8%
GRI 102-8, SASB TC-SI-330a.3	太平洋諸島の住民の割合	<1%	<1%	0.3%
GRI 102-8, SASB TC-SI-330a.3	ネイティブアメリカ人 / アラスカネイティブの割合	<1%	<1%	0.3%
GRI 102-8, SASB TC-SI-330a.3	複数の人種の血統を持った人の割合	2%	2.5%	2.5%
	コミュニティへの参加			
	「コミュニティ」を参照			
	持続可能な職場環境と取り組み			
	「包摂的な機会を目指す」を参照			

* FY2020末より、小数点第一位までのデータを報告しています。FY2021より、多様性のメトリクスの算出方法を見直しました。アドビのメトリクスは、性別および/ または人種・民族に関するデータを自ら特定しないことを選択した人を含む、従業員（世界全体）の合計を表しています。これまでアドビは、性別および/ または人種・民族に関するデータを自ら特定した従業員の割合を報告していました。この移行により、計算にはより大きなデータセットを使用しています。
†FY2019までは、太平洋諸島の住民はアジア系に含まれています。

従業員

リファレンス指標	重要業績評価指標	2019	2020	2021
	人的資本管理			
	トップ雇用主表彰リスト			Adobe Awards
SASB TC-SI-330a.2	従業員満足度	87%	93%	91%
	全従業員に占める純雇用創出の割合	13%	-0.30%	15.3%
	社内公募で欠員補充した割合	29%	30%	29%
GRI 401-2	福利厚生プログラム			健康と福祉、生命保険、休暇と傷病休暇、長期研修休暇、家族に優しい福利厚生制度
GRI 401-2	教育費補助プログラム			Adobe Benefits
GRI 403-2	業務上の事故による従業員の死者数（10万人当たり）	0	0	0
GRI 403-2	業務上の事故による外部契約者の死者数（10万人当たり）	0	0	0
GRI 403-9; GRI 403-10	傷害および疾病の件数（労働時間20万時間当たり）	0	0	0.03
GRI 403-3	労働衛生サービス			人間工学プログラム：従業員は ergonomics@adobe.com までメールを送信するか、社内ネットワークでリクエストを送信することができます。
GRI 403-6	労働者の健康増進			Adobe Benefits
GRI 403-7	労働安全衛生の影響の防止と緩和			Adobe Global Security Operations Center（GSOC）：安全衛生に関する悩みがある場合は、従業員は safety@adobe.com にメールを送るか、Global Security Operations Center（24 時間年中無休）+1 (408) 536-4444（内線6-4444）、+1 (800) 866-8006、+1 (408) 536-4443（国際電話/ コレクトコール））への連絡、または security@adobe.comにメールを送ることができます。
GRI 201-3	確定給付型年金制度の負担、その他の退職金制度			Adobe Benefits
GRI 404-3	業務とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合			Adobe Check-in

従業員

リファレンス指標	重要業績評価指標	2021
GRI 416	コンプライアンス違反の件数（製品の安全衛生に関して、罰金または処罰の対象となった事例、警告の対象となった事例）	アドビは、有形の製品や、顧客の身体の健康と安全を危険にさらすような製品を扱っていないため、当社の事業はこれには該当しないと考えます。詳細は、「責任あるビジネス活動：責任ある製品とサービスの使用」をご覧ください。
GRI 102-17	アドビ ヘルプライン（社内外の悩み相談、上位者への報告、内部告発、緊急時連絡を秘密厳守で受け付ける）	アドビヘルプライン：従業員は6-HELPに電話するか、 ERC@adobe.comにメールを送ることができます。そのほか誰でも、コンプライアンスオフィス、 integrity@adobe.com にメールを送るか、1-800-300-1026 に電話することができます。

コミュニティへの参加

「コミュニティ」を参照

持続可能な職場環境と取り組み

「持続可能性」を参照

コミュニティ

アドビの2020年重要性評価で浮かび上がってきたのは、「Creativity for all（すべての人に『つくる力』を）」、「Diversity & Inclusion（ダイバーシティ＆インクルージョン）」、「Tech for Good（世界を良くするためのテクノロジー）」というテーマです。以下の開示情報は、世界中のコミュニティにとって重要なこういった分野について、当社の取り組みの進捗状況を示しています。以下のメトリクスは、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の「4.質の高い教育をみんなに」、「5.ジェンダー平等を実現しよう」、「8.働きがいも経済成長も」、「10.人や国の不平等をなくそう」に当社が貢献している実践の一部を示しています。

リファレンス指標	重要業績評価指標	2019	2020	2021
	コミュニティへの参加			
	企業の慈善事業に関するガイドライン			企業の責任
	従業員が参加した活動			Adobe Life
GRI 413-1	地域コミュニティへの参加、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所			アドビ 非営利リソースガイド
GRI 201-1	コミュニティへの投資総額（現金および現物）*	$49.1M	$86.9M	$95.5M
	無償慈善活動プロジェクトによる人材の寄与総額（ドル）	$1,278,000	$1,968,000	$1,414,350
	従業員の参加率	70%	70%	69%
	参加団体	60,844	71,409	67,715
	奉仕活動時間	134,594	116,391	127,865
	従業員個人の寄付と奉仕活動時間に対する会社の上乗せ額（ドル）	$10,059,599	$15,682,913	$15,525,005
	製品の寄付（FMV）	$24.8M	$54.6M	$46.6M
	社会のための製品の技術革新			
	アクセシビリティ			アドビ アクセシビリティ
	インクルーシブデザイン			インクルーシブデザイン—アドビ ブログ
	パートナーシップを通じた技術革新			アドビの変革者
	環境保全に配慮した製品やサービス			*「Sustai持続可能性」を参照*
	STEAM、教育、将来の労働力			
	「包摂的な機会を目指す」を参照			
	責任ある製品とサービスの使用			
	「責任あるビジネス活動」を参照			

* 「コミュニティへの参加」セクションのデータはすべて、当社CSR プログラムの性質上、暦年としております。

コミュニティ

リファレンス指標	重要業績評価指標	2021
	従業員のダイバーシティとインクルージョン	
	「従業員」を参照	
	包摂的な機会を目指す	
GRI 203-2	デジタルインクルージョンイニシアチブ	アドビ 教育イニシアチブ
		Diverse Voices
	奨学金、支援金、キャリア開発の機会	Adobe Creativity Scholarships Adobe Digital Academy
	ダイバーシティとインクルージョン	アドビ ダイバーシティとインクルージョン
	機会と賃金の公平性	従業員の公平性
	デジタルリテラシー	アドビ デジタルリテラシー
	障害を持った人のアクセシビリティ	アドビ アクセシビリティ
	アドビ アクセシビリティの基準	WCAG 2.0 AA
	インクルーシブデザイン	インクルーシブデザインーアドビ ブログ
	データプライバシーとデータセキュリティ	
	「責任あるビジネス活動」を参照	

持続可能性

アドビは、当社の事業やサプライチェーンが環境や気候に及ぼす影響とともに、製品やサービスを通してプラスの影響を与える力が重要であることを認識しています。以下のメトリクスは、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の「12.つくる責任つかう責任」、「13.気候変動に具体的な対策を」に当社が貢献している実践の一部を示しています。

リファレンス指標	重要業績評価指標	2019	2020	2021
	気候変動と温室効果ガス（GHG）排出			
	CDP スコア	A	A	A-
GRI 305-1	スコープ1 GHG 排出量 [CO2 換算トン（t-CO2）]*	11,817	9,598	4,923
	スコープ1 GHG 排出量（天然ガスおよびディーゼル油/ 軽油の燃焼からの排出量） [t-CO2]	10,855	7,534	3,480
	スコープ1 GHG 排出量（燃料電池に使用される天然ガスからの排出量） [t-CO2]	4,611	3,308	0
GRI 305-6	スコープ1 GHG 排出量（オゾン層破壊物質からの排出量） [t-CO2]	486	1,191	300
	スコープ1 GHG 排出量（移動発生源からの排出量） [t-CO2]	478	873	1,143
GRI 102-56	報告済みスコープ1 排出量の検証状況	第三者機関による検証済み	第三者機関による検証済み	第三者機関による検証済み
GRI 305-2	スコープ2 GHG 排出量（ロケーション基準） [t-CO2]	56,128	50,653	58,907
	スコープ2 GHG 排出量（マーケット基準） [t-CO2]	43,893	33,535	30,460
	スコープ2 GHG 排出量（ロケーション基準）アドビが運営する共同設置しているデータセンター	10,870	13,165	22,798
	スコープ2 GHG 排出量（マーケット基準）アドビが運営する共同設置しているデータセンター	4,040	3,804	4,109
GRI 102-56	報告済みスコープ2 排出量の検証状況	第三者機関による検証済み	第三者機関による検証済み	第三者機関による検証済み
GRI 305-3	スコープ3 GHG 排出量 [t-CO2]†	505,069	393,465	424,343
	カテゴリ1 GHG 排出量（購入した製品&サービス） [t-CO2]	330,129	325,392	396,221
	カテゴリ2 GHG 排出量（資本財） [t-CO2]	29,025	28,812	18,340
	カテゴリ3 GHG 排出量（燃料およびエネルギー活動） [t-CO2]	14,180	12,692	7,323
	カテゴリ4 GHG 排出量（輸送&配送（上流）） [t-CO2]	739	682	6
	カテゴリ6 GHG 排出量（出張） [t-CO2]	88,959	11,978	1,187
	カテゴリ7 GHG 排出量（雇用者の通勤） [t-CO2]	42,037	13,908	1,267
GRI 102-56	報告済みスコープ3 排出量の検証状況	第三者機関による検証済み	第三者機関による検証済み	第三者機関による検証済み

*** スコープ1および2のGHG排出量：FY2020のメトリクスは、ポートフォリオの規模と消費の修正を反映するように更新されました。**
†スコープ3 GHG排出量：FY2019～2020年度のメトリクスは、EPAファクターを用いたEEIO手法の改訂を反映するように更新されました。

持続可能性

リファレンス指標	重要業績評価指標	2019	2020	2021
	気候変動と温室効果ガス（GHG）排出			
GRI 305-5	エネルギー効率化プロジェクトによる排出削減量 [t-CO2]	143	195	416
GRI 305-4	正規化された炭素原単位 [t-CO2（スコープ1+2）/ FTE]*	2.46	1.92	1.37
GRI 305-7	窒素酸化物（NOX）、硫黄酸化物（SOX）、およびその他重要な大気排出量	0	0	0
	再生可能エネルギーとエネルギー効率			
GRI 302-1	エネルギー総消費量 [MWh]	221,486	208,187	237,468
SASB TC-SI-130a.1	エネルギー総消費量 [GJ]	797,351	749,473	854,886
SASB TC-SI-130a.1	エネルギー総消費量のうち、系統電力が占める割合	71.90%	78%	92%
SASB TC-SI-130a.1	エネルギー総消費量のうち、再生可能エネルギーが占める割合	25.20%	37.5%	55.5%
	エネルギー総消費量のうち、再生可能電力が占める割合	34.90%	47.9%	60.3%
	購入、消費された系統電力量（世界全体） [MWh]	159,277	162,417	218,530
	アドビが運営する共同データセンターから購入、消費した電力の割合	21%	28%	43%
	購入、消費された燃料（天然ガスおよびディーゼル油/ 軽油）（世界全体） [MWh]	62,210	45,770	23,472
	燃料電池による発電量 [MWh] †	11,230	8,060	0
	現地での燃料電池による発電量の割合	7.00%	5%	0%
GRI 302-3	エネルギー原単位 [MWh/FTE]	9.8	9.2	9.2
G4-EN6	再生可能エネルギー目標	2035年までに再生可能エネルギー100%	2035年までに再生可能エネルギー100%	2035年までに再生可能エネルギー100%

* FY2019～2020年度のメトリクスは、マーケット基準データを用いた手法の改訂を反映するように更新されました。

† 2020年9月、アドビは脱炭素化戦略の一環として、サンノゼおよびサンフランシスコのオフィスにおける燃料電池電力の使用中止を決定しました。

持続可能性

リファレンス指標	重要業績評価指標	2019	2020	2021
	持続可能な職場環境と取り組み			
	総面積（世界全体）（平方フィート）	4,685,530	4,622,486	4,648,814
	LEED/ グリーンビルディング認証を受けた建物の割合 [自社ビルおよび賃貸]	75%	77%	81%
	LEED/ グリーンビルディング認証を受けた職場に勤務する従業員の割合	61%	68%	66%
	自社ビルおよび管理下にある建物の割合	54%	54%	53%
	賃貸の割合	46%	46%	47%
	アメリカの割合	62%	62%	63%
	インドの割合	21%	21%	21%
	それ以外の国の割合	17%	15%	16%
	アドビのワークスペースにおけるエネルギー総消費量（アドビが運営する共同データセンターのエネルギーは含まない） [MWh]	134,367	100,995	78,661
GRI 302-3	アドビのワークスペースにおけるエネルギー使用強度（kWh/ 平方フィート）	28.68	21.85	16.92
	環境保全に配慮した製品やサービス			
	持続可能性ポリシー			アドビ 持続可能性ポリシー
	製品イノベーション			アドビの持続可能性ー製品イノベーション
	製品イノベーション			持続可能性ーアドビ ブログ

持続可能性

リファレンス指標	重要業績評価指標	2019	2020	2021
	データセンター			
	スコープ2（ロケーション基準）GHG 排出量（ヒルズボロにアドビが所有するデータセンター、OR） [t-CO2]	15,368	17,015	17,601
	スコープ2（マーケット基準）GHG 排出量（ヒルズボロにアドビが所有するデータセンター、OR） [t-CO2]	19,127	17,059	16,838
	ヒルズボロにアドビが所有するデータセンター、OR が購入、消費した電力量 [MWh]	51,695	58,305	64,266
	スコープ2（ロケーション基準）GHG 排出量（アドビが運営する共同設置しているデータセンター） [t-CO2]	10870	13,763	22,798
	スコープ2（マーケット基準）GHG 排出量（アドビが運営する共同設置しているデータセンター） [t-CO2]	4040	3,903	4,109
	共同設置しているデータセンターが購入、消費した電力量 [MWh]	32,831	45,100	93,488
SASB TC-SI-130a.3	データセンターのニーズに応じた戦略的計画に対する環境的配慮の統合に関する記述	データセンターの管理	データセンターの管理	データセンターの管理
	環境の持続可能性に配慮したサプライチェーン			
	サプライチェーン基準			アドビ サプライチェーンの実践基準（「C」を参照）
	持続可能性ポリシー			アドビ 持続可能性ポリシー
	データセンターと環境的配慮			環境的配慮ーアドビが共同設置しているデータセンター
	水の使用と管理			
GRI 303-1, SASB TC-SI-130a.2	水の総使用量ー自社ビル（世界全体）および/ または管理施設 [m^3]	262,045	260,154	209,786
SASB TC-SI-130a.2	リサイクルされた水の割合	15.40%	4.20%	3.10%
SASB TC-SI-130a.2	ベースライン水ストレスが「高い」または「極めて高い」地域の割合*	42% （高い：33%、極めて高い：9%*）	17% （高い：13%、極めて高い：4%）	15% （高い：13%、極めて高い：2%）

* アドビは、WRI Aqueduct Water Risk Atlasツールを使用してリスク評価を実施しています。

持続可能性

リファレンス指標	重要業績評価指標	2019	2020	2021
	廃棄物管理			
GRI-306-1	廃棄物発生および廃棄物関連の重大な影響	アドビは、廃棄物が出ないデジタル製品を生産しているため、ここに報告されている廃棄物は、自社ビルと長期賃貸契約を結んでいる建物から発生した業務上の廃棄物です。		
GRI 306-2	自社ビル（世界全体）および/ または管理施設からの排出量 [ショートトン]			
GRI 306-2	廃棄物転用率（全体に占める割合)*	92%	89%	91%
GRI 306-3	廃棄物総発生量	1,850	803	1,189
	リサイクルされた廃棄物の総量 (t)	872	214	566
	埋め立て処理された廃棄物の総量	165	92	106
	転用された廃棄物の総量 (t)	1,684	1,711	1,082
	堆肥化された廃棄物の総量 (t)	812	453	517
	環境関連の罰金、反則金、和解金の支払い			
GRI 307-1	環境関連の罰金、反則金、和解金の支払い	$0	$0	$0

* 昨年の方法論での見落としにより、FY2020の廃棄物転用率を修正しています。

変化を起こす。

「世界を動かすデジタル体験を」ーこれは、危機中にあっても最も順調な時であっても重要な我々のミッションです。

アドビは、従業員を支援し、あらゆる声に力を与え、コミュニティを発展させ、持続可能な未来を築くことによって、世界を変えるためにクリエイティビティの力を創造することに専念し続けます。

adobe.com/createchange

Designed by Studio Rainwater